

目標達成計画

作成日：平成28年11月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	・日々の多忙な介護の現場で心にゆとりが持てなくなると、利用者の出来ないこと、分からないこと等マイナスの面に目が向きやすい。一緒の時間を共に過ごす喜びを感じて、微笑みあう心のゆとりを持つ機会を作る。	・利用者の持っているプラスの一面を発見した時は記録に残すことができる。	・ケアカンファレンスの場で利用者の分かること、出来ること、その人らしいエピソードなどを情報交換して今後の介護に役立てる。 ・「にやり、ほっとした場面を記録する「にやりほっと」カードを作製する。 ・何気ない言動の中にあるその人らしい姿や一面を発見した時には、カードに記録を残していく。	12ヶ月
			・「にやりほっと」した場面を利用者、家族、職員は共有できる。	・スタッフ会議の場で「にやりほっと」カードの内容を発表する機会を持つ。 ・ホーム内に「にやりほっと」のコーナーを設ける他、家族に郵送するおたよりにてお伝えする。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。